



平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【長崎県】

1 実践テーマ	【 I・III・V 】
2 実施対象者	長崎県立壱岐高等学校 ●1年2組生徒 37名（体育理論） ●1年5・6組生徒 37名（体育理論） ●1・2年生徒 332名（オリパラ招聘事業）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 保健体育/体育理論 ） ② 行事名（ オリンピック・パラリンピック招聘事業 ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	●現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックムーブメントがあることを理解させる。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを理解させる。
5 取組内容	●体育理論「1. スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴 ウ. オリンピックムーブメントとドーピング」についての授業を行う。 ●オリパラ招聘事業を行い、「夢の見つけ方・叶え方」について講演をしていただく。
	 

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●オリンピック・パラリンピックへの興味関心の高まりを感じられた。 ●ドーピングという行為がなぜ行われるようになったのかを理解し、ドーピングの是非について活発に議論する機会を得ることができた。 ●スポーツの文化的価値を考え、スポーツがなぜ必要かを理解することができた。 ●オリンピック・パラリンピックが抱える問題（政治的利用・ドーピング問題・賞金などの報酬）について考えることが出来た。
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●教員からの意見の押しつけにならないよう、話し合いの機会を十分に取った。 ●生徒の話し合いでは、ブレンストーミングからディベートの形までもっていけるよう指示を行い、活発なディスカッションが行われるよう配慮した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●視覚的なプレゼン（パワーポイントの活用）を増やすことによって生徒の理解がさらに高まると感じた。 ●カヌーでのドーピング問題など、タイムリーな話題を取り入れることで生徒も理解しやすいように感じた。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●継続して体育理論のなかでオリンピックムーブメントとドーピングについて授業の中で取り扱っていきたい。